



# YELL

## 第67号

那須教育事務所  
ふれあい学習課

〒324-0056

栃木県大田原市中央1-9-9

Tel:0287(23)2177(代)

VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ

## 知っていますか、地域コーディネーター！

11月に開催した「社会教育主事有資格者ステップアップ研修」への御参加、ありがとうございました。吉田博彦氏の講話から、学校と地域が連携することの必要性を確認することができたのではないのでしょうか。

さて今回は、本地区の地域コーディネーター・地域教育コーディネーター・地域学校協働活動推進員に、取組の工夫や心がけていること等を伺ってきました。今後の活動の参考にさせていただければ幸いです。

### 大田原市立佐久山小学校 地域コーディネーター 石崎 晴夫 氏



私は、学校のニーズに対して、それに最も合致する方、例えば、児童に向けて話をするのであれば、話すことが苦手でない方等をコーディネートするようにしています。地域の方にも得手不得手がありますので、依頼された方も困らないように気を付けています。

最近は学校へ足を運ぶことにも慣れてきましたが、地域コーディネーターになりたての頃は抵抗がありました。学校へ行っても「誰？」という感じで、行きづらさや居づらさを多少なりとも感じていました。その状況のままであれば、私も学校から距離を置いてしまっていたかもしれません。けれども、学校へ行くたびに私を覚えてくださる先生が増えていき、私も学校への抵抗感が減っていきました。ただ、それでも要請なしに学校へ行くことは難しいと感じています。地域の情報はたくさんもっていますので、これからもどんどん声をかけてほしいです。これからの学校と地域の関係というものを考えると、学校は、枝の剪定でも除草作業でも、何でもいいので一度地域に話を振って、地域のみinnで検討していくという流れが望ましいのではないかと思います。

学校では、毎年先生方の異動があります。数年経つと、全員が入れ替わっているということもあります。そのような状況になっても、学校、児童と地域のつながりが途絶えないように、次に来る先生方へ引き継いでいっていただきたいと願っています。その際に、地域コーディネーターに声をかけてもらえれば、これまでの経緯等をお話することもできます。学校と地域の連携・協働を、人が変わっても継続していくため、その仕組みの一部として、私たち地域コーディネーターがいるのだと考えています。

### 那須町立黒田原小学校 地域教育コーディネーター 高久 実 氏



私は、地域教育コーディネーターになって3年目になります。地域教育コーディネーターになった当初は、前任者が残してくれた地域ボランティアとのつながりを維持することを第一に考えて行動していました。人とのつながりこそが財産なので、それは今でも大切にしています。初めのうちは、地域連携活動の様子が分からなかったもので、地域ボランティアに混ざって一緒に活動に参加し、状況の把握に努めました。既存のつながりの維持、私自身のネットワークから新たな人材の発掘、活動に参加しながらの状況把握と、初年度は大変忙しい日々でしたが、地域教育コーディネーターとしてとても充実していました。

〔裏面に続く〕

学校からニーズを受け取ったときに、私は、自分のこれまでの経験を基に、活動に「味付け」の提案をしています。例えば、田植え体験では、田植えと稲刈りに加えて、種もみの発芽観察や脱穀体験も提案しました。農業では、作物が食べ物になるまでの過程が重要です。そのことを児童にも学んでほしいという思いが「味付け」提案につながりました。

私は独自に「ボランティア通信」を作成し、地域ボランティアに情報を発信しています。また、活動に協力していただいた方々に、私からも礼状を届けています。直接足を運んで感謝の気持ちを伝えることで、地域連携活動に対して一層理解してもらえると考えています。特に環境ボランティアの方々は、児童と直接交流することがありませんが、それでも一生懸命に協力してくれています。お願いをしている側として、はっきり見える形で感謝の気持ちを伝えなければいけないと思っています。

地域連携活動の様子が多くの人に見えるよう情報発信をしています。今後は保護者への発信も強化したいと考えています。「子供たちのために、こんなにたくさんの地域の方が協力してくれている」ということを広く周知することも、地域教育コーディネーターの役割だと思います。

## 那須塩原市立東小学校 地域学校協働活動推進員 小出 昭夫 氏



東小学校には私を含めて3名の地域学校協働活動推進員（以下、「推進員」）がおり、「児童のために何かできないか」とアイデアを出し合っています。学校から「クラブ活動を充実させたい」と相談があったときにも、3人の推進員それぞれの得意分野やネットワークを活用して、魅力的な活動を提案しました。クラブ活動に関しては、先生方にとって専門外の内容のものでも、地域にいる「専門家」が児童に教えることができます。地域でできることがあれば、可能な限り力になりたいと、私は考えています。

那須塩原市では「田園空間博物館」という取組を行っています。地域のあちこちに、博物館では展示物に当たる「サテライト」という、観光スポットのような場所があり、このサテライトを通して、地域の文化や歴史を知ることができます。私たち推進員は、学校に出向いて児童にサテライトの説明をするなど、児童がサテライトに触れるような働きかけをしており、同時に、先生方にも地域を知ってもらうため、「サテライト巡り」の研修を提案しています。子供たちにもっと地域のことを知ってもらいたい、地域に愛着をもってもらいたいという思いがあります。

私が学校に提案していることの多くは、地域の力を活用して児童を見守り、育てる活動です。地域には、児童のために何かできることをしたいという思いをもつとともに、地域を盛り上げたい等、「自分たちに対するメリット」も同時に考えている方がたくさんいます。私はそういった方々をコーディネートしていきますので、学校は遠慮せずに、地域の力を頼ってほしいと思っています。子供たちが「この地域に育って良かった」と思えるような環境づくりを目指して、これからも活動していきます。

## 「那須地区ふれあい学習ネットワーク」の御案内

今年度の「那須地区ふれあい学習ネットワーク」は、オンデマンド配信で実施いたします。

「那須地区ふれあい学習推進会議」の様子や、バラエティ番組「ぶっちゃけ寺」等でおなじみ、**光琳寺住職 井上広法 氏**による講話「幸せに満たされる練習～思いやりを科学する～」を、令和4年1月25日(火)から、令和4年2月8日(火)の2週間、YouTubeで配信します。

期間中、後日お送りする案内から、どなたでも視聴できます。申込みはございません。社会教育主事有資格者、地域連携担当者をはじめ、教職員や保護者等、たくさんの方々に御視聴いただけますよう、周知に御協力ください。